

一日偶感

入来院重朝



今日は月曜日です。一週間たつのは実に早いと思います。というのは、私は血糖値が少々高めで、かかりつけのお医者さんからすすめられたN医療食品(株)から「食宅便」が送ってくる日なのです。つまり一週間分まとめて、冷凍弁当7ヶを明細と共に月曜日午前中に送ってくるのです。一人住いの私は毎夕この弁当をチンして食するのです。大体カロリー度は200〜300キロカロリーで、例えば今夕食するつもりの弁当は「豚肉の黒胡椒炒め」で熱量256キロカロリーです。おいしいかと言えば、まずNO!です。

1

しかしチンして食べられるという簡便さは

何ものにも代えられません。というわけで、今朝「食宅便」が届き、ああ一週間たったのかと思ったわけです。つまり一年たつのもあつと言う間という感じですが。その間印象が鮮烈なのは我がトッチャンボーヤのアメリカ上・下両院での春先の演説です。この演説で彼はボーヤを卒業しました。そして今や日本の安倍総理は世界のリーダーになりました。

先般の伊勢志摩サミットでの彼の采配振りはずまずの出来だっただろうと思います。それからの消費税延期の彼の発言について世間は特に野党の連中はさんざんなんくせをつけていました。トッチャン安倍総理はいちいち相手にせず涼しい顔をしていました。つまり晴れて総理は第一人者になったというわけです。

さて世界は今や大げさではなく、音を立ててさま変ろうとしています。去年からの「分

裂」さわぎは欧米では日常になりました。今や支那が分裂するかどうかが今後の話題になるでしょう。すなわち世界の大地震は支那次第です。

ところで我が日本国はどうか、世間の表層はテンデバラバラで、特に野党連合の人達の間で言っていることは戦後の日教組の教育の成果をみる思いです。マサに新制中学二年生程度の学級委員会での演説さながらです。

今年の夏参議院の選挙が終ると一応落ち着くのでしょうか。

さて目下我が国の耳目を集めている話題と言えば舛添都知事の去就の問題です。これを書いてある現在六月十三日は総務委員会での集中審議が山場だと報道されています。

私は、彼は世間知らずの頭でつかちのバカボーヤだと思っていましたから、おそらく彼は眼光するどく追求はバツバツサと撫斬る

でしょう。結局不信任決議案上程でケリがつくのでしょうか。では一体誰が次の知事になるのかこれが次の話題です。我が国は大体落ち着くところに落ち着くのが流儀ですから心配しません。世界はそうはいきません。例えば、イギリスの去就は如何。アメリカのトランプ旋風のイミするところ如何。これらは世界的スケールで影響が拡大するでしょう。

70年前敗戦国日本をGHQは永久占領のあかしとして現憲法を發布しました。建国たった200年余の植民国家の国民性は時に野卑であり時に純情であり己の力をもてあます、オッチョコチョイでもあります。何でも手に入ったと思つた彼等にしてみれば日本の永久占領も本気のためしてみたくなつたのも仕様がありません。しかし世界は彼等の思い通りにならないことがすぐわかります。

とどのつまり現オバマ大統領は今や世界

から相手にしてもらっていません。現アメリカ政権は出来るだけ軍事力は使わない主義ですから日本の永久占領はやめるはずで、恐らく数年かけて日本から米軍は撤退するでしょう。アメリカもオールマイティではないことを彼等はよく自覚しています。つまりオカネがないのです。そこでトランプが実際大統領になったら、恐らく現実になりそうですが、日本も普通の国になれと言ってくるでしょう。つまり、自分のことは自分で始末しろと言うことです。至極当たり前ですが、現在の日本の大半それも自分はエライエスタブリッシュと思っ込んでいるオメデタイ連中勿論安倍トツチャン総理は除きますが、彼等はアメリカにずっと占領してもらいたいと本気で思っているのです。

さて世界の現実は無肉強食です。核の廃絶は夢のまた夢です。人類は、一度手に入れた



「火」は絶対に手放すことはありません。これから我が日本はどうなるでしょう。私はちゃんと現実的に生きのびると思います。つまり日本は一夜で変わる国ですから。世界は日本を日本人以上によく知っています。これは本当はオソロシイことです。

(炬ばたセイ談庵主)